

今後、円卓会議で検討すべき方向性を共有していくために、今までの会議や意見交換会等を通じて出された意見の共通項目を事務局でまとめました。

共通項目	主な意見
子どもたちがやりたいことを実現できる学校づくりの条件とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一方的な授業はつまらない</li> <li>・学校は自分の「好き」を突き詰める場所</li> <li>・学校はやってみたいことに挑戦でき、経験できる場所</li> </ul>
教員がチャレンジしたいことを実現できる学校づくりの条件とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊ぶように楽しめる学び、一人ひとりを起点とした学びを実現したい</li> <li>・授業づくり、教材研究等に充てる時間が必要</li> <li>・新しいことにチャレンジできる機会がほしい</li> </ul>
入試制度の見直しの方向性は妥当か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験と探究活動が両立しない</li> <li>・自分の強みを生かせる自由な入試制度が必要</li> <li>・出欠席日数、成績の関係、内申書のあり方の見直しが必要</li> </ul>
学校・フリースクール・居場所・地域・行政など様々な機関で連携・協働を推進していくための仕組みとは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な機関（地域や民間団体等）による連携・協働で子どもの育ちと学びを支えることが重要</li> <li>・多様な世代や人が混ざり合う場が必要</li> <li>・学校と地域等が互いに理解を深め、協働していく仕組みが重要</li> </ul>
小規模校ならではの学びを実現するために必要な環境整備とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由なカリキュラムの設計</li> <li>・学年、学級を超えた自由度の高い学び</li> <li>・こどもの認知に応じた柔軟な学び</li> <li>・中山間地の教員配置やへき地手当等の処遇改善</li> </ul>
学びの場を信州全体で支えていくために必要な取組とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校に行かなくても大丈夫」という価値観を広げる</li> <li>・学校だけに責任を迫る社会（保護者・地域など）の不寛容さ</li> </ul>